

# 平成31年度学校自己評価システムシート (県立大宮東高等学校)

目指す学校像	安全・安心な環境の下、文武両道を旨とし、正義感溢れる心身ともに健康な生徒を育てる学校
--------	--

※ 学校関係

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒の能力を最大限に引き出す授業を実践し、自主学習する習慣を確立させ、確かな学力の定着を図る。</li> <li>2 組織的・計画的なキャリア教育を通して、生徒が主体的に一つ上を目指し進路を実現できる能力を培う。</li> <li>3 生徒指導の充実と部活動等の活性化を図り、安全・安心な環境の下、高い規範意識と豊かな人間性を持った生徒を育成する。</li> <li>4 保護者や地域と密接に連携し、地域に信頼される開かれた学校づくりをする。</li> </ol>
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )			実 施 日 平 成 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<input type="checkbox"/> 現状 ・授業にまじめに取り組む生徒が多いが、基礎学力が十分ではなく、自主学習の習慣があまり身につけていない生徒も多い。 <input type="checkbox"/> 課題 ・基礎基本の学力定着を重視した「わかる」「できる」授業をさらに展開するとともに、自主学習の習慣を身に付けさせる必要がある。	基礎基本を定着させる学習指導と生徒の主体性を育む学力向上の取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>①生徒の学習意欲を高め、わかる授業を展開し、基礎学力の定着を図る。</li> <li>②年次研修、公開授業、教科会等を活用し、授業改善を進める。</li> <li>③「朝学習」を含め、生徒に主体的に学習に取り組みせ、学習時間を確保するための方策や授業の工夫について、情報交換し共有を進めていく。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①学習意欲の向上と授業満足度に係る授業アンケートの結果。</li> <li>②授業改善につながる情報交換や検討の実施状況と教科会の活性化。</li> <li>③主体的に学習に取り組む生徒の割合と自主学習の時間。</li> </ol>				
2	<input type="checkbox"/> 現状 ・多岐に渡る進路希望に対し、3年間を見通した進路指導事業を安定的に実施できている。 ・生徒、保護者とも進路指導満足度は比較的高い水準である。 <input type="checkbox"/> 課題 ・生徒一人一人の可能性や適性に応じた、より高い進路実現を目指す必要がある。 ・多様な進路希望に応えるため、教員の指導力向上を更に図る必要がある。	生徒の可能性と主体性を引き出し、「一つ上」の可能性を目指す進路指導の充実	<ol style="list-style-type: none"> <li>①組織的かつ継続的に3年間を見通した進路指導を行うとともに、生徒・保護者へ十分な情報提供を行い、進路意識を啓発し主体的に進路実現できる生徒を育てる。</li> <li>②高大接続改革への対応、特に1年後からスタートする大学入学者選抜改革に向けての具体的な対応を検討するとともに、新学習指導要領の実施に向けての教育課程の改訂等にも取り組んでいく。</li> <li>③進路実現に向けて、全職員の指導力向上を図り、生徒一人一人の可能性や適性を見極めた進路指導を組織的に行うことで、「一つ上」の目標にチャレンジする生徒を育てる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①生徒の主体性を育む各学年進路行事と分野別指導等の実践状況。進路だより等の進路啓発資料の発行状況。</li> <li>②研修会の実施状況や入試選抜改革への対応状況と新教育課程の改定に向けての取組状況。</li> <li>③生徒の進路希望状況と実現状況、大学受験や公務員試験受験での「一つ上」の目標を目指す取組状況。補習・面接・小論文等の指導実施状況。職員進路研修の実施状況。模擬試験の分析と活用。</li> </ol>				
3	<input type="checkbox"/> 現状 ・基本的生活習慣等は確立しているが、登下校時の自転車車運転について周辺の方々から御意見をいただくことがある。 ・9割以上の生徒が部活動に所属し、全国・関東大会等に出場を果たしている。 ・生徒の行事への関心は高い。 <input type="checkbox"/> 課題 ・安全・安心に学校生活を送れるよう規範意識を更に向上させる。 ・部員の主体性を育み自己実現としての競技実績を向上させる。 ・文化部の活性化が課題である。	3年間を通じた、規範意識を高める生徒指導の充実	<ol style="list-style-type: none"> <li>①生徒指導部・学年・家庭の連携による生活指導を徹底する。</li> <li>②県警指定の自転車マナーアップ推進校の事業を活用し、意識を高める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①遅刻率、挨拶の状況。</li> <li>②全校集会や職員・保護者による交通安全指導の取組状況。</li> </ol>				
		豊かな人間性を育て、主体的に努力する生徒を育てる部活動と学校行事の活性化	<ol style="list-style-type: none"> <li>①外部機関との積極的な連携を行い、部活動顧問の指導力向上や効果的な活動により、全国大会や関東大会等の上位大会への出場実績を維持・向上させるとともに、文化部の活性化を図る。</li> <li>②体育祭、文化祭等の学校行事の活性化により、生徒の豊かな人間性や主体性を育てる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①部活動の実績評価と指導力向上対策の状況。長期的視点に立った、文化部員数の確保の取組。生徒と保護者の部活動満足度。</li> <li>②生徒主体の学校行事の取組状況や生徒の学校行事満足度。</li> </ol>				
4	<input type="checkbox"/> 現状 ・ホームページによる情報発信により、本校への理解が地域に浸透してきている。 <input type="checkbox"/> 課題 ・生徒の活躍ぶりがよりわかるような広報活動を続け、志願者数を増やす。 ・生徒の対外的な活動を充実させ、家庭や地域と連携し開かれた学校づくりを推進する。	本校の魅力を積極的にアピールし、生徒募集につなげるとともに、地域に開かれた学校づくりを推進	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ホームページやTwitterを充実させ、学校説明会や里帰り訪問を通じ、「がんばる大東生」を発信し、本校への理解を積極的に発信し、浸透させる。</li> <li>②ボランティア体験学習や部活動等における地域の様々な施設との交流を実施する。</li> <li>③保護者が学校行事に参加する機会を増やす。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①学校説明会の参加者数やその満足度と好感度及び入学志願者数。ホームページの内容の充実と更新回数やアクセス数。</li> <li>②交流・体験、ボランティア活動等の地域交流の推進状況。</li> <li>③保護者や地域の方々の学校行事への参加者数。</li> </ol>				